

こんな声がありました!

CD・DVDが音飛びする…。

「CD・DVDの取り扱い方法について」



ママ、大変!!
CDの歌が途中で途切れて聴こえるの。

あら、本当ね。



ほかのCDは聴けるのに…。

このCDがおかしいのかしら…。



CD・DVDの再生面(裏面)は確認したかな?再生面に汚れやキズがついていると、うまく再生できないのじゃ!

CDやDVDは、CD・DVDプレイヤーがCDやDVDの再生面(裏面)に記録されている音声や映像のデータを読み取ることで、音声や映像を再生します。そのため、CDやDVDの再生面にほこりや汚れ、キズなどが付いていると、プレイヤーでその部分が再生できなくなり、音飛びや再生不良などの原因となるので取り扱いには注意が必要です。

また、プレイヤーの再生レンズにほこりが付いている場合にも同様なことが起こります。



POINT CD・DVDの取り扱い方法

- 再生面を指で触らない
指で触ると手の脂や汚れが付着することがあります。ケースやプレイヤーのトレーから取り出す際は、CD・DVDの穴とディスクの縁を持って取り出してください。(図1)
- 再生面に汚れがついたときは汚れをふき取る
再生面に汚れがついたときは、メガネふきなどの柔らかい布でCDの中心から外側に向かって放射状に軽くふき取ってください。(図2)
再生面にキズがつくことがありますので、ティッシュではふかないでください。
- プレイヤーも定期的なクリーニングを!
プレイヤーの再生レンズにゴミやほこりが付いていると、音声や映像データが読み取れないことがありますので、定期的にクリーニングキットなどで再生レンズをクリーニングしてください。
- 必ずケースに入れましょう!
直に机や床、じゅうたんなどの上に置くと、再生面にほこりや汚れなどが付いたり、キズがつくことがあります。

豆知識

CD・DVDは製造する際に精度が求められるため、製造時にはCD・DVD表面にゴミやほこりが付着しないようにクリーンルームにて製造し、厳格な品質管理が行われております。また、機械による鏡面検査を行い、ディスクにキズやゆがみ、汚れなどがある規格外品は、取り除かれるしくみになっています。

検査後、製造されたCD・DVDは自動化された包装ラインで自動包装機にて包装・梱包されるため、製造時に汚れやキズがつくことはありません。

